

特別展 | Special Exhibition

Gengensai Seichū Sōhitsu, the 11th Urasenke Iemoto:
Commemorating the 150th Anniversary of His Death

玄々斎

—裏千家十一代家元精中宗室居士百五十回忌記念—



悉皆顯然
衣食住乃具
練意志勵志



茶道ノ源意ハ忠孝五常ヲ精勵ニ節
候貨素ヲ専ラミ守リ今限相應ル家
勢ニ怠ラス治世安穩ノ
朝恩ヲ奉戴シ貴賤衆人親疎ノ隔テ無

左から：(茶道の源意) 玄々斎筆、(羽衣裏)(五器の内) 玄々斎好 八代中村宗哲作、(玄々斎肖像画)(部分) 三田村宗龍画 牧宗宗寿賛、
(赤茶碗 銘 神俊) 玄々斎作 すべて今日庵蔵

2026
9/29^火 — 12/6^日

前期：9月29日(火) — 11月1日(日) 後期：11月3日(火) — 12月6日(日)
開館時間 午前9時30分 — 午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 月曜日(但し、祝日は開館、翌火曜日休館)
入館料 一般1000円、大学生600円、中高生350円
小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料
茶 一般1000円、メンバーシップ校の方は800円
(予約優先・要別途入館料)

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073

京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
裏千家センター内 TEL. 075-4316474



1

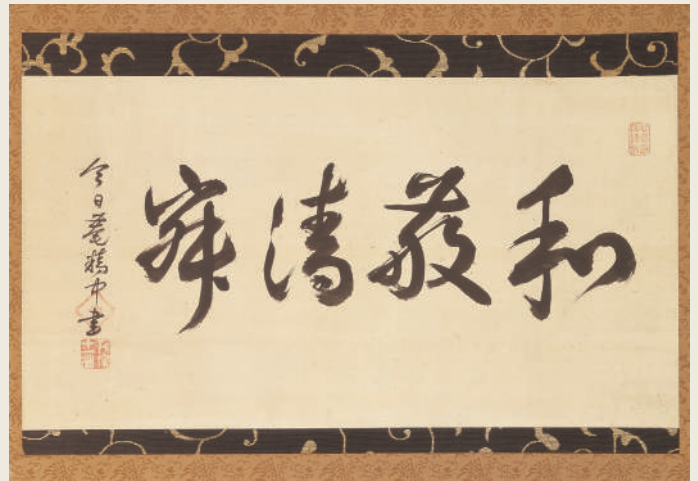
令和8年は裏千家十一代家元・玄々斎精中宗室(1810~77)の百五十回忌にあたります。本展はこれを記念して、玄々斎の功績や、その活動を支えた人物との交流を紹介します。

幕末から明治にかけて世相が大きく変化する時代に、家元として当時の茶道界を担って活躍した玄々斎は、裏千家中興の時代を築いた人物として広く知られています。伝来の文物を研究して保存することの重要性を説く一方、明治維新後の外国文化の流入に合わせて、椅子を用いた立礼式の点前を考案するなど、日本文化の適応性を内外にアピールしました。

伝統を継承する一方、新しい時代に呼応して現代につながる茶の湯を展開させ、近代茶道発展の基盤をつくった玄々斎に関連する茶道具・書画などを展示し、その遺徳を偲びます。



2



4



3



5



6

1 《菊泉香合》 玄々斎好 樂慶入作 今日庵蔵 2 《赤茶碗 銘 鶴・亀》一雙 玄々斎作 今日庵蔵 3 《桶形水指》 認得斎作 今日庵蔵 4 《横物「和敬清寂」》 玄々斎筆 今日庵蔵 5 《黒胎袖長茶入 銘 鷺の山》 野々村仁清作 今日庵蔵 6 《竹茶杓 銘 松かせ》 真精院作 茶道資料館蔵

呈茶席 (有料・予約優先)

立礼の茶席で抹茶と和菓子をお出ししています。

料金: 一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円(予約優先・要別途入館料)

定員: 各席16名

※詳細・予約方法は、公式HPまたは電話にてご確認ください。

(予約は前日15時まで)

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
裏千家センター内 TEL: 075-431-6474

<https://www.urasenke.or.jp/textc/gallery/> (日本語)

<https://www.urasenke.or.jp/textc/resources/organ-konnichian/gallery/> (English)



HP(日本語)

【メンバーシップ校】

京都芸術大学、立命館、光華学園、京都大学、京都工芸繊維大学、同志社、平安女学院、京都文教学園、京都精華大学、京都府立医科大学、京都府立大学、京都外国語大学、京都産業大学(加盟順)

【アクセス】

【市バス】

- JR京都駅中央口のりばB1より⑨
- 阪急大宮駅下車3番出口→四条堀川より⑨⑫
- ※いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分
- 京阪出町柳駅より⑩⑪⑫⑬、堀川今出川下車、堀川通東側を北へ徒歩10分

【地下鉄】

- 烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分
- 東西線二条城前駅より市バス⑨⑫、堀川寺ノ内下車、徒歩3分

